

農業生産の発展 生活の向上(農民)・財政の安定(幕府・藩) ←太平の世

小規模家族(夫婦中心)による零細な農業経営

① 1 _____ の進行…耕地面積の増大(2 約160万町歩→約300万町歩) 新田は数年間は免税

- ・ 3 ^{だいかんみたて}代官見立新田…天領の代官が自ら開発 前期に多い
- ・ 4 町人請負新田…商人資本 <例>川口新田(摂津)、^{こうのいけ}鴻池新田(河内)

ほかに、藩営新田、土豪開発新田、村請新田など

治水・^{かんがい}灌漑の発達 <例>5 箱根用水、6 見沼代用水、玉川上水、大和川改修

② 商品作物の栽培 →各地で特産物に

- { 7 四木…8 桑(養蚕→生糸→絹)、9 楮(和紙)、10 ^{うるし}漆(漆器)、11 茶(12 山城・宇治など)
- { 13 三草…14 紅花(赤の染料: 15 出羽など)、16 藍(青の染料: 17 阿波など)、18 麻(衣料)

その他 <例>19 木綿(綿花) (朝鮮から持ち帰った種子→衣料の主流 20 河内・三河・尾張)

21 _____ (^{みずあぶら}水油の原料: 中世の荏胡麻にかわって普及)、23 砂糖(奄美大島)、

24 煙草、25 ^{いぐさ}蘭草(畳表: 26 備中)、27 櫨(はぜ: ロウの原料)など

③ 技術の進歩

農具 28 _____ …より深く耕す ※従来の鋤(平鋤)は土寄せなどに

29 _____ …脱穀(稲から^{もみ}籾へ) ※従来の^{こきぼし}30 扱き箸(別名「後家倒し」)にかわる

31 _____ …玄米・^{もみがら}籾殻を選別 ※従来の箕(み)にかわる ← 大幅な作業効率の改善

34 _____ …米の殻粒の大小を選別 ←

35 踏車…水を揚げる ^{からざお}36 穀竿(麦などをたたいて脱穀)、37 唐臼(精米)、など

肥料 38 刈敷・厩肥が基本…中世以来 入会地から取得 耕地の増加により不足していく

→ 39 _____ (購入肥料)も使用…商人との取引 ※都市周辺では下肥(発酵した人糞尿)が重要

<例> 40 _____ (主に東国 九十九里浜などで採れたイワシから)、

41 _____ (主に西国。菜種や綿実から)、42 ^{しめかす}粕(魚や胡麻などの絞りかす)、^{にしん}鯨粕

※鯨油…^{じよこうざい}除蝗剤(虫害対策)として購入

④ 農書の発達…農業技術の解説

<例> 『43 清良記』(1628年頃: ^{すいや}土居水也(伊予))

44 _____ (筑前)…元禄期 『45 農業全書』(1697: 商品作物を重視)

46 大蔵永常(豊後)…江戸後期 『47 農具便利論』(1822) 『48 広益国産考』(1859)

ほかに『百姓伝記』、『会津農書』、『49 老農夜話』(1843 千歯扱や唐箕を紹介)

諸産業の発展 ※「日本山海名産図会」(1799)…各地の珍しい名産物を紹介

A. 水産業 50 _____ の普及…^{じびきあみ}51 地引網や^{ていちあみ}52 定置網・^{ふなびきあみ}船曳網などを使う大規模漁法

…^{しづつ}摂津・和泉・紀伊 ⁵³網元・網子経営

<例> ^{いわたし}54 鰯 (⁵⁵九十九里浜)、^{にしん}56 鯨・^{えぞち}57 _____ (蝦夷地)、^{くじら}58 鯨 (紀伊・土佐・肥前)、^{かつお}59 鰹 (土佐)

⁶⁰ _____ (61いりこ・ほしあわび・ふかひれの俵詰め)…東北の産物→清へ輸出

製塩 ⁶² _____ 式から⁶³ _____ 式(潮の干満を利用)へ

瀬戸内10国で8～9割(十州塩) <例> ⁶⁴播州(播磨)赤穂、阿波撫養、讃岐坂出

B. 林業 <例> ^{ひのき}65 木曾 檜 (尾張藩直轄)、⁶⁶秋田杉(秋田藩直轄)・吉野杉・熊野杉、炭(摂津池田、紀伊備長)

C. 鉱業 中心は金銀から銅へ 露天掘りから坑道法へ ^{はいふき}67 灰吹法(銀の製錬：石見銀山から)

金：⁶⁸佐渡相川、⁶⁹伊豆 銀：⁷⁰但馬 _____、⁷¹石見 _____、院内(秋田)

銅：⁷²下野 _____、⁷³伊予 _____ (→住友)、^{おさきざわ}74 尾去沢(秋田)

鉄：⁷⁵出雲(⁷⁶砂鉄：⁷⁷たたら製鉄法)、⁷⁸釜石鉄山、⁷⁹石炭(北九州)・石油(越後)も

E. 手工業 ←商品作物の栽培、専門職人の増加、都市需要の増加、諸藩の国産奨励

⁸⁰農村家内工業から⁸¹問屋制家内工業へ

…自給自足的 …… 問屋商人が原材料や器具を貸す 18世紀以降

①織物 **絹** ⁸² _____ (京)→⁸³桐生絹(上野)→⁸⁴足利絹(下野) ※⁸⁵ _____ (新技術)が伝来

ほかに、^{ちりめん}86 丹後縮緬、⁸⁷伊勢崎絹(上野)、^{つむぎ}88 上田 紬 (信濃)

綿 ^{かすり}89 久留米 緋、⁹⁰小倉織、**麻** ^{ちぢみ}91 越後 縮、^{さらし}92 奈良 晒、^{じょうふ}93 近江晒、薩摩 上布

②陶磁器 ⁹⁴京焼 (⁹⁵清水焼など)、⁹⁶丸谷焼(加賀)、⁹⁷有田焼(肥前：別名「伊万里焼」)、萩焼

③漆器 ⁹⁸輪島塗(能登)、⁹⁹会津塗、^{しゆんけい}100 春 慶塗(飛騨など)、南部塗(陸奥)

④醸造 **酒** ¹⁰¹灘、¹⁰²伊丹、¹⁰³伏見、池田 **醤油** ¹⁰⁴野田・¹⁰⁵銚子、竜野(播磨)

⑤製紙 ¹⁰⁶美濃紙、¹⁰⁷鳥ノ子紙・奉書紙(越前)、^{すいばら}108 杉原紙(播磨)、¹⁰⁹檀紙(讃岐) ※^{ながしすき}流漉の技術

⑥その他 ¹¹⁰越中の薬(富山)、¹¹¹備後の畳表、

京・加賀の^{ありまつしほり}105 友禅染、尾張の^{かや}106 有松絞(藍染)、近江蚊帳 などなど

【正誤問題に挑戦】<センター1991本試験、1993本試験より>

X. 宮崎安貞の『農業全書』、大蔵永常の『農具便利論』などの農書によって栽培技術や農業知識が広まった。

Y. 近世を通じて城郭建築が建築資材の需要を高め、秋田の檜、木曾の杉など各地の林業を発展させた。

農業生産の発展 生活の向上(農民)・財政の安定(幕府・藩) ←太平の世

小規模家族(夫婦中心)による零細な農業経営

① **新田開発** の進行…耕地面積の増大(2約160万町歩→約300万町歩) 新田は数年間は免税

- ・ 3代官見立新田…天領の代官が自ら開発 前期に多い
- ・ 4町人請負新田…商人資本 <例>川口新田(摂津)、^{こうのいけ}鴻池新田(河内)

ほかに、藩営新田、土豪開発新田、村請新田など

治水・灌漑の発達 <例>^{かんがい}5箱根用水、^{かんがい}6見沼代用水、玉川上水、大和川改修

② **商品作物**の栽培 →各地で特産物に

- { 7四木…⁸桑(養蚕→生糸→絹)、⁹楮(和紙)、¹⁰漆(漆器)、¹¹茶(¹²山城・宇治など)
- { 13三草…¹⁴紅花(赤の染料: ¹⁵出羽など)、¹⁶藍(青の染料: ¹⁷阿波など)、¹⁸麻(衣料)

その他 <例>¹⁹木綿(綿花) (朝鮮から持ち帰った種子→衣料の主流) ²⁰河内・三河・尾張

²¹菜種 ^{みずあぶら}(²²水油の原料: 中世の荏胡麻にかわって普及)、²³砂糖(奄美大島)、

²⁴煙草、²⁵蘭草(畳表: ²⁶備中)、²⁷樫(はぜ: ロウの原料)など

③ **技術の進歩**

農具 ²⁸備中鍬 …より深く耕す ※従来の鍬(平鍬)は土寄せなどに

²⁹千歯扱 …脱穀(稲から^{もみ}へ) ※従来の^{こきばし}30扱き箸(別名「後家倒し」)にかわる

³¹唐箕 …玄米・^{もみがら}粃殻を選別 ※従来の箕(み)にかわる ← 大幅な作業効率の改善

³⁴千石筥 …米の殻粒の大小を選別 ←

³⁵踏車…水を揚げる ^{からざお}36穀竿(麦などをたたいて脱穀)、³⁷唐臼(精米)、など

肥料 ³⁸刈敷・厩肥が基本…中世以来 入会地から取得 耕地の増加により不足していく

→³⁹金肥 (購入肥料)も使用…商人との取引 ※都市周辺では下肥(発酵した人糞尿)が重要

<例> ⁴⁰千鰯 (主に東国 九十九里浜などで採れたイワシから)、

⁴¹油粕 (主に西国。菜種や綿実から)、^{しめかす}42粕(魚や胡麻などの絞りかす)、^{にしん}鯨粕

※鯨油…^{じよこうざい}除蝗剤(虫害対策)として購入

④ **農書の発達**…農業技術の解説

<例> 『⁴³清良記』(1628年頃: ^{すいや}土居水也(伊予))

⁴⁴宮崎安貞 (筑前)…元禄期 『⁴⁵農業全書』(1697: 商品作物を重視)

⁴⁶大蔵永常(豊後)…江戸後期 『⁴⁷農具便利論』(1822) 『⁴⁸広益国産考』(1859)

ほかに『百姓伝記』、『会津農書』、『⁴⁹老農夜話』(1843 千歯扱や唐箕を紹介)

諸産業の発展 ※「日本山海名産図会」(1799)…各地の珍しい名産物を紹介

A. 水産業 50 **上方漁法** の普及…^{じびきあみ}51 **地引網**や^{ていちあみ}52 **定置網**・^{ふなびきあみ}船曳網などを使う大規模漁法
 ……^{しづつ}摂津・和泉・紀伊 ⁵³**網元**・**網子経営**

<例> ^{いwash}54 **鯛** (⁵⁵九十九里浜)、^{にしん}56 **鯨**・^{えぞち}57 **昆布** (蝦夷地)、^{くじら}58 **鯨** (紀伊・土佐・肥前)、^{かつお}59 **鰹** (土佐)
⁶⁰**俵物** (⁶¹いりこ・⁶²ほしあわび・⁶³ふかひれの俵詰め)…東北の産物→清へ輸出

製塩 ⁶²**揚浜** 式から⁶³**入浜** 式(潮の干満を利用)へ

瀬戸内10国で8～9割(十州塩) <例> ⁶⁴播州(播磨)赤穂、阿波撫養、讃岐坂出

B. 林業 <例> ^{ひのき}65 **木曾檜** (尾張藩直轄)、⁶⁶**秋田杉** (秋田藩直轄)・吉野杉・熊野杉、炭(摂津池田、紀伊備長)

C. 鉱業 中心は金銀から銅へ 露天掘りから坑道法へ ^{はいふき}67 **灰吹法** (銀の製錬：石見銀山から)

金：⁶⁸佐渡相川、⁶⁹伊豆 銀：⁷⁰但馬生野、⁷¹石見大森、院内(秋田)

銅：⁷²下野足尾、⁷³伊予別子 (→住友)、^{おさきざわ}74 **尾去沢** (秋田)

鉄：⁷⁵出雲(⁷⁶砂鉄：⁷⁷たたら製鉄法)、⁷⁸釜石鉄山、⁷⁹石炭(北九州)・石油(越後)も

E. 手工業 ←商品作物の栽培、専門職人の増加、都市需要の増加、諸藩の国産奨励

⁸⁰農村家内工業から⁸¹問屋制家内工業へ

…自給自足的 …… 問屋商人が原材料や器具を貸す 18世紀以降

①織物 **絹** ⁸²**西陣織** (京)→⁸³**桐生絹** (上野)→⁸⁴**足利絹** (下野) ※^{たかほた}85 **高機** (新技術)が伝来

ほかに、^{ちりめん}86 **丹後縮緬**、⁸⁷伊勢崎絹(上野)、^{つむぎ}88 **上田紬** (信濃)

綿 ^{かすり}89 **久留米 緋**、⁹⁰小倉織、**麻** ^{ちぢみ}91 **越後縮**、^{さらし}92 **奈良晒**、^{じょうふ}93 **近江晒**、薩摩上布

②陶磁器 ⁹⁴京焼 (⁹⁵清水焼など)、⁹⁶**丸谷焼** (加賀)、⁹⁷**有田焼** (肥前：別名「伊万里焼」)、萩焼

③漆器 ⁹⁸**輪島塗** (能登)、⁹⁹会津塗、^{しゅんけい}100 **春慶塗** (飛騨など)、南部塗(陸奥)

④醸造 **酒** ¹⁰¹灘、¹⁰²伊丹、¹⁰³伏見、池田 **醤油** ¹⁰⁴野田・¹⁰⁵銚子、竜野(播磨)

⑤製紙 ¹⁰⁶美濃紙、¹⁰⁷鳥ノ子紙・奉書紙(越前)、^{すいばら}108 **杉原紙** (播磨)、¹⁰⁹檀紙(讃岐) ※^{ながしすき}流漉の技術

⑥その他 ¹¹⁰越中の薬(富山)、¹¹¹備後の畳表、

京・加賀の^{ありまつしほり}105 **友禅染**、尾張の^{かや}106 **有松絞** (藍染)、近江蚊帳 などなど

【正誤問題に挑戦】<センター1991本試験、1993本試験より>

- X. 宮崎安貞の『農業全書』、大蔵永常の『農具便利論』などの農書によって栽培技術や農業知識が広まった。
 Y. 近世を通じて城郭建築が建築資材の需要を高め、**秋田**の檜、**木曾**の杉など各地の林業を発展させた。